



11.研究発表（平成19年度の研究成果）

〔雑誌論文〕 計(2)件

著者名	論文標題			
Kudo T*, Kanemoto S*, Hara H, Morimoto N, Morihara T, Kimura R, Tabira T, Imaizumi K, Takeda M. (*: These authors contributed equally to this work)	A molecular chaperone inducer protects neurons from ER stress.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Cell Death and Differentiation	有	In press	■■■	

著者名	論文標題			
Hino S, Kondo S, Sekiya H, Saito A, Kanemoto S, Murakami T, Chihara K, Aoki Y, Nakamori M, Takahashi MP, Imaizumi K.	Molecular mechanisms responsible for aberrant splicing of SERCA1 in myotonic dystrophy type 1.			
雑誌名	査読の有無	巻	発行年	最初と最後の頁
Human Molecular Genetics	有	16	2017	2834-2843

〔学会発表〕 計(2)件

発表者名	発表標題	
Soshi Kanemoto, Tomohiko Murakami, Shinichi Kondo, Akio Wanaka, Kazunori Imaizumi	OASIS, an ER stress transducer, is involved in bone metabolism. ---Analysis of OASIS knockout mouse.	
学会等名	発表年月日	発表場所
International Bone and Mineral Society	2007年6月27日	モントリオール (カナダ)

発表者名	発表標題	
金本聡自、村上智彦、近藤慎一、和中明生、今泉和則	小胞体ストレスセンサーOASISによる osteocalcin の発現制御機構の解析	
学会等名	発表年月日	発表場所
日本骨代謝学会	2007年7月21日	大阪

〔図書〕 計(0)件

著者名	出版社		
書名	発行年	総ページ数	
	■■■		

12. 研究成果による産業財産権の出願・取得状況

〔出願〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	出願年月日	国内・外国の別

〔取得〕 計(0)件

産業財産権の名称	発明者	権利者	産業財産権の種類、番号	取得年月日	国内・外国の別

13. 備考

※ 研究者又は所属研究機関が作成した研究内容又は研究成果に関するwebページがある場合は、URLを記載すること。

--

